

巻号	頁	題 名	著 者
創刊号	1	郷土史への愛情と学問(講演)	永田衡吉
創刊号	4	西丹沢山北町堂山遺跡と尾崎遺跡を訪うて	赤星直忠
創刊号	8	西丹沢古文書(一)山崎家文書目録とその略解	石田昇
創刊号	21	川村山北差出帳—鈴木家文書	本多秀雄
創刊号	23	箱根の番所 矢倉沢御関所	柏木都美子
創刊号	26	箱根の番所 谷峨御関所	岡部志津子
創刊号	27	足柄地名探訪(一) 矢無瀬・踊り場	中津川要一
創刊号	28	足柄地名探訪(一) 浜井場	酒匂三平
創刊号	29	民話 嫁田のはなし	湯山厚
創刊号	31	西丹沢の民謡[一] からうす唄・もちつき唄・ぼん唄	岩本としえ 他
創刊号	34	丹沢の民俗資料 大道祖神山・門入道	川口謙二
創刊号	36	明治の力士 武蔵潟伊之助	石川元次
創刊号	37	丹沢の溪谷	藪田義文
創刊号	39	おじいさん・おばあさんに聞いた話 あげやさん	石田忍
創刊号	40	おじいさん・おばあさんに聞いた話 古戦場	吉本タネ子
創刊号	40	おじいさん・おばあさんに聞いた話 銭塚	清水正巳
創刊号	40	おじいさん・おばあさんに聞いた話 犬くびり	杉本悦子
創刊号	41	おじいさん・おばあさんに聞いた話 豆がふった話	瀬戸直
創刊号	42	丹沢句集・山北十二勝記(一)	津田紫明・高橋隆
創刊号	45	神奈川県指定重要文化財民俗資料世附百万遍念仏	世附部落
2号	1	山村の問題	千葉徳爾
2号	10	考古資料 蒐集についての覚書	赤星直忠

巻号	頁	題 名	著 者
2号	16	足柄に遊んだ福沢諭吉翁 その足跡と草稿	印野耕一
2号	20	足柄地方における証文の種類[一] 平山古瀬家金融証文	木川保雄
2号	25	共和牛乳のはなし	杉本好永・大野君磨
2号	27	旧清水村の道祖神祠	瀬戸茂
2号	31	幕末期に於ける英学の起りと私の家(其の一)	藤井巳之吉
2号	36	童唄を集めよう	小林梅次
2号	40	信玄の丹沢金山をたずねて	加藤栄治・藪田義文
2号	43	西丹沢再遊の記	寺口とく
2号	46	足柄地名探訪[二] 「寄」の呼び名について	橋本憲太郎
2号	47	西丹沢の民謡[二] 御料木運搬の歌	藪田キヌ・藪田義文
2号	48	西丹沢古文書(二)武尾家文書目録と解説	石田昇
3号	2	戦国時代における南関東の交通	中丸和伯
3号	11	村鑑差出などからみた上郡の近世社会経済の概要	本多秀雄
3号	16	南足柄町狩野の祭祀遺構について	坂詰秀一
3号	19	足柄の義民下田隼人	加藤誠夫
3号	22	西丹沢点描塔ヶ岳・蛭ヶ岳	山口富貴男
3号	24	山北町日向部落	武井岫
3号	25	昔の地藏堂	佐藤ハツ枝
3号	28	中世足柄関係史料	中丸和伯
3号	34	西丹沢古文書(二)武尾家文書目録と解説(その二)	石田昇
3号	40	足柄上郡共和村民俗誌[二]	県立神奈川工業高校郷土研究部
3号	43	堂山及烏山遺跡の発掘計画について	編集委員会

巻号	頁	題 名	著 者
3号	43	山北町文化財出展目録説明	瀬戸正二
3号	47	文化財展出品目録	足柄史談会
3号	51	昔の話篠窪部落(一)	小島巖
3号	53	随想	津田紫明
3号	53	山北の秋	相原珠泉
4号	2	富士噴火年表「富士の地理と地質」石原初太郎氏から	山北町教育委員会
4号	3	富士宝永噴火に関する記録について	鈴木隆造
4号	4	宝永四丁亥年降砂ニ付小田原江(指上申候文言)	鈴木隆造
4号	13	宝永五年御救金石高と人別扶持二色ニ割符帖	鈴木隆造
4号	20	河村山北村宝永六年飢人御扶持表	鈴木隆造
4号	20	皆瀬川村の被害状況について	松川浩
4号	21	宝永五年皆瀬川村飢人書上帳井上良夫家文書	松川浩 書写
4号	30	宝永六年皆瀬川村飢人御扶持米割渡し帖	松川浩 書写
4号	33	宝永七年乍恐以書付奉御訴訟候事(中山家六ヶ村)	松川浩 書写
4号	34	宝永七年奥山家往還道御普請人足積り	松川浩 書写
4号	36	乍恐奉願上口上書之御事	松川浩 書写
4号	37	享保十六年乍恐以書付奉願上候	岩本正夫
4号	37	覚・申渡し之覚	岩本正夫
4号	39	南足柄中沼名主杉本田造日記	本多秀雄
4号	40	秦野地方の被害と煙草の耕作	石田一雄
4号	41	富士山の噴火について	石田一雄
5号	1	古代の足柄について(講演記録)	直良信夫

巻号	頁	題 名	著 者
5号	15	山北町西北部(山市場以北)に産する陸産貝類について	関口秀一
5号	21	相州足柄郡入会山資料 武尾家文書	松川浩・本多秀雄写
5号	25	煙硝の話 話者山崎為吉翁記者	木川保雄
5号	29	篠窪昔話 三号の続き	小島巖
5号	37	足柄の迷信—松田町寄—	編集委員会
5号	41	鈴木家文書並絵図目録	鈴木隆造
5号	43	山北十二勝記(二)	高橋隆
5号	44	書画展目録	編集委員会
5号	46	俳句	
6号		共和地区を対象とした民俗学的調査研究報告	東京教育大学民俗学研究会 東京学芸大学民俗学研究会
6号	1	村の概観	平山和彦
6号	2	村の社会生活・村の起源	平山和彦
6号	2	村の社会生活・村の出来事	平山和彦
6号	3	村の社会生活・村の構成	平山和彦
6号	12	村の社会生活・家と同族	平山和彦・飯塚三重子
6号	14	村の社会生活・若衆組	平山和彦・花島政三郎
6号	15	村の社会生活・人生儀礼 ①産育	倉野礼子
6号	19	村の社会生活・人生儀礼 ②婚姻	倉野礼子
6号	23	村の社会生活・人生儀礼 ③葬送	河上一雄
6号	26	村の経済生活・衣・食・住	河上一雄
6号	30	村の経済生活・生業関係	渡辺靖雄
6号	36	村の信仰生活・部落の氏神	宮田登・牛島巖

巻号	頁	題 名	著 者
6号	39	村の信仰生活・信仰的講集団	宮田登・花島政三郎
6号	43	村の信仰生活・お峯入り	東京教育大民俗学研究会
6号	51	村の信仰生活・年中行事	加賀ひろ子
6号	57	歴史的背景 はしがき	東京教育大民俗学研究会
6号	58	歴史的背景 鎌倉武士と河村郷	中丸和伯・福田アジオ
6号	59	歴史的背景 南北朝の内乱と在地の動向	中丸和伯・福田アジオ
6号	61	歴史的背景 戦国時代における在地領主の発展とその支配	中丸和伯・福田アジオ
6号	67	歴史的背景 徳川氏分国としての小田原藩の成立	中丸和伯・福田アジオ
6号	71	近世初期の村落構造	中丸和伯・福田アジオ
7号	1	古墳から見た東国文化	尾崎喜佐雄
7号	12	相模山北における鎌倉時代の墳墓群	日野一郎
7号	19	高松寄地区踏査記録	露木貞夫
7号	24	西丹沢のタニガシ	倉田悟
7号	25	ヤシヤイノデ採集詳報	田代信二
7号	26	清水地区における植物目録	梅田五男吉
7号	33	湯触村鑑帳	上郡社会科同好会
7号	35	映画「郷土資料」解説	県視聴覚課
8号	1	西丹沢の集落とその社会構造	瀬戸貞夫
8号	28	大久保加賀守様入部以来御条目	鈴木隆造
8号	43	鉄砲に関する資料	松川浩
8号	46	古人の芳灯	相原珠泉
9号	1	関東大震災の思い出を語る 座談会(一)	聞き手瀬戸貞夫

巻号	頁	題 名	著 者
9号	34	関東大震災の思い出を語る 座談会(二)	聞き手瀬戸貞夫
10号	1	山北町の埋蔵文化財について(講演)	赤星直忠
10号	30	西丹沢の集落とその社会構造(続)	瀬戸貞夫
10号	60	津久井郡郷土資料館の見学記	茂川正明
11号		山北・鉄道盛衰史	藤井良晃
12号	口絵	水没した集落と残った集落(写真)	茂川正明
12号	1	西丹沢の集落とその社会構造	瀬戸貞夫
12号	30	三保の民俗 箒沢部落を中心として	松川浩・岩本忠明・佐藤徳
12号	83	県重要文化財 世附の百万遍念仏	世附部落
12号	105	尾崎縄文遺跡	赤星直忠
12号	119	相甲駿国境紛争と公裁	石田昇
12号	161	新編相模国風土記稿 神縄村、世附村、中川村、玄倉村稿本	松川浩
12号	177	年代古事記翻刻者	相原源治
13号	1	二階堂家伝来旧記書	般若院蔵
13号	57	山北の縄文文化	赤星直忠
13号	57	江戸時代の山北の農民	本多秀雄
13号	58	山北と皆瀬川	鈴木隆造
13号	59	西丹沢の人たちの起源をたずねて	藪田義文
13号	62	中川温泉由来記	丹羽正夫
13号	63	山北の商店街	酒匂三平
13号	64	湯山家五代の事蹟	川密一壽
13号	65	室生神社の鎮座考	瀬戸正二

巻号	頁	題 名	著 者
13号	66	旧藩時代の農民生活	石田昇
13号	68	奥山家道の石仏巡礼	岩本正夫
13号	71	伊勢丹社長小菅丹治氏について	鈴木隆造
13号	75	広蔵講念佛の由来	杉山正治
13号	76	河村氏の史実について	杉山正治
13号	78	川村のザル	尾崎章
13号	82	河村郷	石田昇
13号	83	般若院物語	川密金子
13号	84	川村氏と流鏑馬	杉山正治
13号	85	寿連縁起と二世楠之本	津田紫明
13号	86	西丹沢と吉野朝	石田左近
13号	87	丹沢の生立ち	松川浩
13号	88	共和酪農の今昔物語	大野君麿
13号	89	高杉天神宮とお峯入り	岩本正夫
13号	91	道祖神の話	瀬戸茂
13号	92	西丹沢の金鉾	池谷嘉徳
13号	93	みかんの起源	高橋忠一
13号	94	清水地区の短歌	山崎勝
13号	95	文命堤の由来と田中丘隅	滝沢惣平
13号	96	実相寺と鉄牛	池谷嘉徳
13号	96	掘割古事記	杉山正治
13号	97	山北を訪づれた文人墨客	石田昇

巻号	頁	題 名	著 者
13号	97	丹沢の動物誌	関口秀一
13号	98	西丹沢の人たちの起源をたずねて	藪田義文
13号	99	箒沢のハッ揃い	佐藤伴次郎
13号	99	世附百万遍念仏	石田耕平
13号	100	足柄茶の由来	細谷辰雄
13号	100	山北村の差出帳	本多秀雄
13号	102	寛文時代の都夫良野村	岩本宣夫
13号	103	旧藩時代の神縄村	茂川正明
13号	105	河村城と南北朝時代	川密一壽
13号	105	平山の浄光寺と大森氏	茂川正明
13号	106	相模国世附村の切支丹宗門改帳	石田昇
13号	107	山北駅の今昔	藤井良晃
13号	107	相模国河村山北村鏡帳	瀬戸利恵子
13号	108	鷹丸家に伝わる年代古事記	相原源治
13号	109	寛文十二年平山村村鏡帳	石田昇
13号	109	向原氏と鎌倉時代の墳墓群	茂川正明
13号	110	石神さま	佐藤智昭
13号	110	尊徳翁語録	石田昇
13号	112	川西村のお寺	加藤弘圓
13号	114	消防ポンプ三代記	杉山実
13号	115	滝の不動尊と巨石	内田健蔵
13号	117	山北局交換特設電話記録	露木三郎

巻号	頁	題 名	著 者
13号	134	力石	瀬戸貞夫
13号	135	三保ダムのあゆみ	佐藤亨二
14号	1	川村の地場産業繁昌記	藤井良晃
14号	24	川村商家自傳 體驗録	和田捻五郎(初代)
14号	57	川村商家自傳 私の履歴書	尾崎友吉(二代目)
14号	74	川村商家自傳 花菱	露木勝兵衛(先代)
14号	96	川村商家自傳 傳述	武井林花(先代)
14号	102	二階堂家伝来旧記書	翻刻相原源治
15号	1	田中丘隅伝	平田実
15号	20	川村山家之内都夫良野村史探稿	岩本南花
15号	83	越地周辺の自然と生活の動向	滝沢武雄
15号	88	三井寺と平山洒水不動尊常実坊について	清水正一
16号	1	山北町地区の庚申信仰盛衰史考	岩本南花
16号	36	昭和十二年七月の大水害録—大きく変わった尺里の地形—	内田健蔵
16号	68	野地仁遺作集—総合演劇雑誌「テアトロ」より収集	野地仁
16号	112	古文書講座	
17号	1	カラス山・堂山遺跡の発掘調査報告	安藤文一
17号	11	2・26事件と山北町出身者—機関銃下の官邸で首相救出—	牧田勇
17号	25	道しるべに昔を偲ぶ—尺里の里・山の観音様をたずねて—	内田幸三
17号	34	古文書講座	
17号	61	天保九年 相模国西山家九ヶ村寄特人員数名前書上帳	山北町文化財保護委員会
18号	3	小田原藩々政史料と誓詞詞文 同史料、生類憐みの令(村の元禄時代抄史)	岩本南花

巻号	頁	題 名	著 者
18号	68	玄倉史話	池谷嘉徳
18号	84	山北地方の狩猟の話	岩本博
18号	87	山北町山村地方の方言	口述 込山亮 聞取 石田昇・石田左千雄
18号	97	古文書講座	
19号		カラス山・堂山遺跡発掘調査報告書	カラス山・堂山遺跡発掘調査調査会
20号	1	岩崎先生のお作「灰」とのいささかのかかわりを	湯山厚
20号	3	灰 相模国足柄郡山北、名主湯山弥五右衛門娘れんの覚書	岩崎京子
20号	11	天下の大盗耳次郎 入寂の地は真楽寺	藪田義文
20号	14	追想檜洞丸 相模の屋根・丹沢山塊の盟主	奥野幸道
20号	20	都夫良野 “柿の平”で化石発見	鈴木満
20号	28	古文書講座	
21号	1	丹沢山塊の生立ちと山北町	末包鉄郎
21号	12	皆瀬川村と川村、山北村に於ける皆瀬川入会安政度出入山論	岩本南花
21号	39	年代古事記全	鴈丸フミ子
21号	103	資料 年代古事記全	翻刻者相原源治
21号	111	古文書講座	
21号	112	古文書 山崎家文書	書写清水正一
21号	114	古文書 山崎家文書	書写瀬戸不二雄
21号	115	古文書 井上家文書	書写荻野小梅
21号	117	古文書 井上家文書	書写森田千代
21号	119	古文書 井上家文書	書写武井昭子
22号	1	相模国大井庄西山家の物語	石田昇

巻号	頁	題名	著者
22号	12	丹沢の古道をたずねて	奥野幸道
22号	23	山北町河村城関連遺跡の発掘調査について	安藤文一
22号	44	足柄の富士講―足柄上郡山北町―	小林謙光
22号	696	平山箱根山正覚院について	清水正一
22号	74	山北町の慰霊碑等	池谷嘉徳
22号	85	華蔵院石仏について―四国八十八ヶ所―	藤井良晃
22号	88	なつかしき思い出―わが山北町―	鈴木比呂
22号	91	山北町中央公民館展示ホール 郷土の歴史展示紹介	武井宏仁
23号	1	戦時中の写真	編集委員会
23号	5	太平洋戦争と暮らし	藤井良晃
23号	11	山北町戦中戦後年表(昭和十二年～)	編集委員会
23号	19	戦中・戦後の山北町	亀山義男
23号	24	谷ヶの送信所	水野勝弘
23号	29	監視哨と私	高橋隆
23号	32	青春の墓標・湖南の詩	内田幸三
23号	42	戦時下山北での暮らし	和田ヒロ子
23号	45	終戦 新生の秋	秋尾崎友吉
23号	57	あの日あの頃 戦争の思い出(川村小学校PTA母親文庫)	眞田敏子
23号	62	私の満州時代 戦争の思い出(川村小学校PTA母親文庫)	T・K
23号	66	シベリアの思い出 戦争の思い出(川村小学校PTA母親文庫)	星野隆一
23号	69	死を見つめて 戦争の思い出(川村小学校PTA母親文庫)	山田金吾
23号	73	終戦とその後 戦争の思い出(川村小学校PTA母親文庫)	藤井嘉乃子

巻号	頁	題 名	著 者
23号	76	集団疎開の回想 成就院への学童疎開(杉の子文集)	金子利雄
23号	78	成就院での生活 成就院への学童疎開(杉の子文集)	川田敦子
23号	80	二度とくり返したくない体験 成就院への学童疎開(杉の子文集)	菊池明子
23号	82	マルロ勤労働員始末 成就院への学童疎開(杉の子文集)	笹部一郎
23号	85	山北町長より連合会長への通達	山北町
23号	87	山北・岸・向原・平山(慰霊塔) 山北町出身戦没者	山北町
23号	91	共和(慰霊塔) 山北町出身戦没者	山北町
23号	92	清水(忠魂碑) 山北町出身戦没者	山北町
23号	94	三保(殉国碑) 山北町出身戦没者	山北町
24号	1	每十八(梅)風記について	藤井良晃
24号	32	三保村誌	池谷嘉徳
24号	41	河村城跡茶臼郭周辺遺跡調査報告	安藤文一
24号	61	瀬戸家の家紋古文書等について	清水正一
24号	69	足柄の富士講(続)	小林謙光
24号	81	宏道流插花と相雲齋梅山	府川宏
24号	85	山北の石造物	山北町文化財保護委員会
25号	1	平山不動尊常実坊	神奈川県立歴史博物館
25号	24	川口廣蔵と荻窪用水	池谷嘉徳
25号	32	平山の「とづらどおし」	清水正一
25号	43	足柄の富士講(その三) 一山北町一	小林謙光
25号	50	箒沢の藤衣(フジゴロモ)	佐川和裕
25号	60	世附の百万遍念仏にみる地域性 一甲駿文化との関わり一	久保田裕道

巻号	頁	題 名	著 者
25号	85	山北の石造物(二)	山北町文化財保護委員会
26号	1	河村城を取り巻く山北の城砦 —新城跡の発掘調査と城砦群踏査を中心として—	安藤文一
26号	26	旧三保村と浅野総一郎	藤井良晃
26号	40	田中丘隅と文命堤	池谷嘉徳
26号	52	あしがらミカンの近現代史—生産減少に優良品種で対応—	牧田勇
26号	61	北条早雲と備中から来た家臣	下山治久
26号	71	道祖神研究史素描—神奈川県のだ祖神研究に向けて—	入江英弥
26号	82	瀬戸堰の開発をめぐって	内田清
27号	1	神奈川県山北町南原古墳群 試掘調査報告	安藤文一
27号	32	河村氏物語	工藤隼人
27号	43	荒河保における河村氏の活躍	高橋重右エ門
27号	54	相模河村氏と河村郷—戦国時代を中心として—	湯山学
27号	83	追記	池谷嘉徳
27号	85	陸奥川村史氏を訪ねて	清水正一
27号	86	三保ダムとともに	佐藤亨二
27号	104	山北町の道祖神祭り—山北町の道祖神祭祀の実態—	入江英弥
27号	124	「山会合」関係資料について	加藤隆志
27号	137	植物利用の民俗	浜野達也
28号	1	般若院「川村氏墓碑銘」考	久保田昌希
28号	20	室町幕府と河村氏(上)	湯山学
28号	45	「山北」の歴史	本多秀雄
28号	55	山北の唯念名号塔をめぐって	小沢勇一

巻号	頁	題 名	著 者
28号	75	西丹沢拾い話	小木満
28号	89	山北町の道祖神祭り—山北町の道祖神祭祀の実態(二)—	入江英弥
28号	100	「昭和五十三年山市場・湯本平・平山・神縄地区」 民俗調査報告について	加藤隆志
28号	121	箒沢における作物禁忌	美甘由紀子
29号	1	宝永富士噴火以降の災害・飢饉と人々の暮らし	岩崎孝和
29号	17	室町幕府と河村氏(中)	湯山学
29号	41	旧皆瀬川村の民俗とお峯入り	久保田裕道
29号	59	守札にみる家の信仰	大野一郎
29号	75	山北町の道祖神祭り—山北町の道祖神祭祀の実態(三)—	入江英弥
29号	87	山北町史民俗編発刊記念シンポジウムの概要	町史編さん事務局
30号		山北町地方史研究会と[足柄乃文化]の歩み	藤井良晃
30号	1	山北町の仏像調査報告書	薄井和男
30号	18	「般若院『川村氏墓碑銘』考」補遺	久保田昌希
30号	20	八幡神社と祭礼の今昔	石田公夫
30号	39	太神社(秋葉神社)の変遷	渡辺文雄
30号	51	山北町の道祖神祭り—山北町の道祖神祭祀の実態(四)—	入江英弥
30号	64	福沢諭吉と足柄	本多秀雄
30号	78	谷峨駅設置について—祖父の日記から—	武井宏仁
30号	81	山北の石造物(三)	山北町文化財保護委員会
31号	1	山北町文化財調査報告 町指定重要文化財 箱根権現縁起絵巻(抄録)	古川元也
31号	35	山北を中心とした足柄地方の『地名』について—文化講演会要旨—	田代道彌
31号	48	河村城跡史跡整備に伴う平成十五年度試掘調査略報	安藤文一

巻号	頁	題名	著者
31号	68	室町幕府と河村氏(下)	湯山学
31号	82	山北町民俗芸能調査報告① 「道ゆきの祭り囃子」～山北町谷峨地区白旗神社祭り囃子～	久保田裕道
31号	99	道祖神祭の山車巡行 —神奈川県足柄上郡山北町山北の山車祭り調査報告—	入江英弥
31号	109	山北地方の方言	藤井良晃
31号	118	戦国期相模河村郷中川と甲斐大窪村	久保田昌希
31号	128	地藏尊「一木三体」考	池谷嘉徳
31号	133	古文書講座1 川口広蔵の売地と貸金の証文	内田清
32号	1	山北町文化財調査報告 般若院伝来の烏帽子形兜について	鳥居和郎
32号	8	山北町民俗芸能調査報告② 「山北地区の川村囃子」～室生神社例大祭と花車巡行～	久保田裕道
32号	27	平成十六年度河村城跡発掘調査の概要について	山北町教育委員会
32号	51	山北の酒造業	田中勉
32号	63	世附村の古文書	渡辺文雄
32号	78	人遠の薬師堂	瀬戸榮二
32号	86	岸地区の道祖神について	石田公夫
32号	103	古文書講座2 婚姻にともなう証文	内田清
33号	1	山北に爪痕を残す自然の猛威—平成十六年度文化講演会—	町田洋
33号	17	山北町民俗芸能調査報告③ 「岸地区の川村囃子」～八幡神社例大祭と花車巡行～	久保田裕道
33号	39	平成十七年度河村城跡詳細調査の概要	山北町教育委員会
33号	55	相州河村氏と河村瑞賢	池谷嘉徳
33号	70	山北と落谷虹児	藤井良晃
33号	75	石仏小考	瀬戸榮二
33号	77	昭和二十年の東京・平塚・山北での日々	関根夫佐子

巻号	頁	題 名	著 者
33号	83	私が体験した山北の空襲	安部雅勇
33号	86	あの頃のこと	磯崎衣代
33号	88	御殿場線の廃止トンネルにできた送信所	細谷覚
33号	97	聞き書き 赤田重砲兵陣地の記憶	遠藤孝徳
33号	105	動員寸描 八王子学徒動員記(昭和二十年)—相模海軍工廠—	川田定雄
34号	1	山北町史の一〇年を振り返って—平成十七年度文化講演会要旨—	金原左門
34号	17	武尾弥十郎の生活記録 —「当用雑記」にみる明治二十年代の谷ヶ村—	星野和子
34号	28	秀學による六字名号碑の造立と安政五年のコレラ調伏について	津田守一
34号	40	青春とロマンの自主上映会—山北映画鑑賞会の歩み	瀬戸照美
34号	54	山北町文化財調査報告 山北町梵天山遺跡(梵天塚)出土の和鏡について	加藤勝
34号	60	山北町民俗芸能調査報告④ 向原の川村囃子及び山北町の祭り囃子の伝承について	久保田裕道
34号	79	念仏の里をあとに	渡辺文雄
34号	86	蓑笠之助と酒匂川治水	池谷嘉徳
34号	94	休岩寺と湯坂公民館	相原伊勢雄
34号	97	傘寿を迎えた会員の来し方—激動八十年の時代考察—	牧田勇
34号	106	山北小史 足柄峠から蝦夷の国をのぞむ	茂木哲夫
34号	119	古文書講座3 山北の村筒(村足軽)文書を読む	内田清
34号	132	山北の石造物(四)	山北町文化財保護委員会
35号	1	戦国大名後北条氏と丹沢山塊	久保田昌希
35号	18	山北中学校校地造成時における石造物並陶磁器等の出土について	本多秀雄
35号	22	相模山北における鎌倉時代の墳墓群(『足柄乃文化』第七号から転載)	日野一郎
35号	31	山市場地藏堂の行幹銘の六字名号塔と安政五年のコレラ流行の関連について	津田守一

巻号	頁	題 名	著 者
35号	40	成就院の石造地藏菩薩について	瀬戸榮二
35号	45	川村小学校誌	石田公夫
35号	65	三保史話	池谷嘉徳
35号	79	山北町と国鉄開業一三五年 ―鉄道文化変容の史的考察―	牧田勇
35号	83	山北小史(二)河村一族、鎌倉・京都で戦う―和田義盛の乱・承久の乱―	茂木哲夫
35号	90	『皇国地誌』川村岸・川村山北・川村向原「村誌」の意義	茂木哲夫
35号	99	皇国地誌（村誌） 川村岸	
35号	110	皇国地誌（村誌） 川村山北	
35号	124	皇国地誌（村誌） 川村向原	
36号	口絵	瀬戸水明画伯作品集	
36号	1	郷土出身の画家瀬戸水明さんの生涯	水野勝弘
36号	18	伊勢丹創業者 二代目小菅丹治伝1	土屋喬雄著 『二代小菅丹治伝上・下』から転載
36号	35	上京する地方武士―相模河村氏の場合― 平成十九年度文化講演会要旨	石丸熙
36号	48	新たに見つかった般若院所蔵の川村家文書について ―幕府旗本から徳川家家扶を勤めた川村氏の日記―	岩崎孝和
36号	58	山北の木食観正碑よりの考察 ―観正による酒匂川の川鎮めの加持祈祷について―	津田守一
36号	70	川村岸史話	池谷嘉徳
36号	91	河村城に籠城した七人の武将は何処から来て、何処に去ったか ―『太平記』に河村城籠城を読む―	茂木哲夫
36号	105	古文書講座4 山北の免状・褒賞状を読む	内田清
36号	121	『横浜貿易新報』に見る東海道線山北駅の繁栄	編集委員会
37号	口絵	瀬戸水明氏作品集Ⅱ	
37号	1	瀬戸水明氏遺稿(俳句・短歌)集 ―恩師安田鞞彦先生と瀬戸水明氏―	
37号	18	山北の民俗―その特色をさぐる―	小川直之

巻号	頁	題 名	著 者
37号	37	棋士吉田一步と山北町洒水の滝 —十三世名人関根金次郎の盟友として—	北野浩之
37号	51	山北町山市場地藏堂の行幹による六字名号軸と 小田原市長善寺と宮窪観音堂の秀學の六字名号軸について	津田守一
37号	62	第一海軍技術廠噴進部山北試験場とその周辺	大倉潤
37号	79	伊勢丹創業者 二代目小菅丹治伝2	土屋喬雄著 『二代小菅丹治伝上・下』から転載
37号	95	般若院所蔵川村家文書「藤原姓 川村家譜」を読む	岩崎孝和
37号	110	河村氏史話	池谷嘉徳
37号	127	後北条期の川村郷の人びと	茂木哲夫
38号	口絵	河村城を語る写真図版・瀬戸水明氏作品集Ⅲ 山北の吊橋三景(昭和初期)	
38号	1	平成二十一年度文化講演会『座談会 河村城を語る』	荻谷俊介・安藤文一・後藤喜八郎 砂田佳弘・加藤拓也
38号	30	瀬戸水明氏遺稿(俳句)集 二『作句手帳』より	瀬戸泰子
38号	39	足柄茶との出会い	水野勝弘
38号	48	荻窪と荻窪用水	石井敬士
38号	63	山北町を中心とした地域の信州高遠石工の活動についての考察	津田守一
38号	70	富士宝永噴火と皆瀬川堀割	茂木哲夫
38号	86	源朝長が幼年期を過ごした「松田亭」の所在地に関する一私見	島村俊介
38号	94	文久期の幕府旗本川村一匡と講武所について	岩崎孝和
38号	100	松田氏史話	池谷嘉徳
38号	111	伊勢丹創業者 二代目小菅丹治伝3	土屋喬雄著 『二代小菅丹治伝上・下』から転載
38号	123	『横浜貿易新報』に見る西丹沢(明治・大正編)	編集委員会
39号	口絵	湖底に沈んだ三保のふるさと	
39号	1	湖底に沈んだ三保のふるさと	野地悌子
39号	5	福沢諭吉は山北(神縄村)を訪れたことがあったかどうか —山北町地方史研究会 平成22年度文化講演会要旨—	金原左門

巻号	頁	題 名	著 者
39号	20	再録 関東大震災の思い出を語る	編集委員会
39号	86	皆瀬川村出身の巨人力士武蔵湯伊之助	小松修
39号	90	松田ゆかりの源朝長(松田冠者)の生涯	島村俊介
39号	106	奥野幸道さんと祖父佐藤浅次郎、そして箒杉	佐藤昌司
39号	115	山北町谷ヶ字大河原の砥石採掘の歴史的考察	津田守一
39号	121	川村権七の足跡をたどる	茂木哲夫
39号	136	山北町議会 昭和の歩み	池谷嘉徳
39号	148	伊勢丹創業者 二代目小菅丹治伝4	土屋喬雄著 『二代小菅丹治伝上・下』から転載
39号	158	やまきたの棟札 岸の山神社	編集委員会
40号	口絵	開かれたタイムカプセル『箱根権現縁起絵巻』の世界	
40号	1	『箱根権現縁起絵巻』に見る箱根修験の文化創造 —山北町地方史研究会 平成23年度文化講演会要旨—	阿部美香
40号	13	文命堤と文命宮	瀬戸良雄
40号	31	足柄上郡地域の日本産狼の歴史的考察	津田守一
40号	42	室生明神と大室権現	茂木哲夫
40号	54	今、満州開拓団を考える —神奈川「満州」開拓団(大楡樹神奈川開拓団)聞き書き—	森敏一
40号	75	関東大震災の見聞記—松の木は滑った—	藪田拓司
40号	81	写真と碑文から見る山北の近代	編集委員会
40号	81	1 岩流瀬堰の「震災復旧記念碑」	編集委員会
40号		2 日向用水と「震災記念碑」	編集委員会
40号		3 池田鶴吉氏の村葬	編集委員会
40号	87	「河村城跡論争」の頃の共和村	岩本宣夫
40号	91	河村城址の考究(昭和十年三月)	石野瑛著 『神奈川県大観5 湘西・湘北』より転載

巻号	頁	題 名	著 者
40号	96	伊勢丹創業者 二代目小菅丹治伝5	土屋喬雄著 『二代小菅丹治伝上・下』から転載
41号	口絵	丹沢で発見されたオウムガイ・サンゴ礁の化石群	門田真人
41号	1	宝永の富士山噴火と幕府の復旧対策 —一代官伊奈半左衛門の施策を中心に— (平成24年度文化講演会要旨)	松尾美恵子
41号	16	山北を訪れた文人たち	石井敬士
41号	32	山北町向原金鉢寺、寺伝の研究—祐天筆六字名号塔を中心として—	津田守一
41号	41	福沢諭吉と山北の鮎鮪	加藤繁男
41号	49	酒匂川流域における災害履歴と災害文化の継承 —南足柄市斑目地区を中心に—	黒柳実里
41号	64	山北町の梵天山(湯殿山) 信仰を探る	茂木哲夫
41号	78	清水「満州」開拓団(通称 大青頂清水開拓団)	森敏一
41号	99	写真と碑文から見る山北	編集委員会
41号		1 円通寺の鉄道工事吊魂碑	武井宏仁
41号		2 生まれ変わった樋口橋	真田悟
41号		3 ビリ堂の石造物「山の観音様」	真田悟
41号		4 河村弥二郎寄進の鰐口	茂木哲夫
41号	110	川村家文書『大概順』を読む	川村家文書を読む会
41号	128	四十年前の丹澤を語る	武田久吉著『山と溪谷』 昭和26(1951)年春号より(No.143)
42号	口絵	東海道鉄道(山北・小山間)災害復旧工事写真帖	
42号	1	神奈川県足柄上地方の自由民権運動史料 —山北町谷ヶ武尾家文書を中心に—	石倉光男
42号	19	近現代における山北をめぐる文学者たち	石井敬士
42号	31	「神奈川県報国農場」聞き取りと手記	森敏一
42号	44	昭和47年豪雨災害とその教訓	編集委員会
42号	60	古義真言宗寺院と高野山高室院の関係について	津田守一

巻号	頁	題 名	著 者
42号	67	南北朝から永享の乱までの河村城と河村氏	茂木哲夫
42号	84	写真と碑文から見る山北	編集委員会
42号		1 町内に所在する五輪塔・宝篋印塔	加藤拓也
42号		2 共和道の二つの馬頭観音像	関正弥
42号		3 瀬戸平山の明治31年鉄道工事慰霊碑	真田悟
42号		4 共和地区人遠庭「八十末社」の棟札	茂木哲夫
42号		5 谷ヶ共有林の二つの石碑	武井宏仁
42号	100	戦争に駆り出された馬たち	岩本宣夫
42号	105	慶応元年七月藩主名簿を読む『殿中御沙汰並書付留』	川村家文書を読む会
42号	119	東海道鉄道建設の頃 下田助次郎・今泉小源治の業績を中心にして一	『日本鉄道請負業史明治編』からの抜粋転載
43号	口絵	酒匂川に棲み続けてきた動物たち	山崎泰
43号	1	戦国時代の河村城とその周辺	小和田哲男
43号	20	忘れられた民間信仰 富士山・修験者・木食たち-小田原藩領の世界から-	西海賢二
43号	36	川村岸囃子と花車運行の今昔	石田公夫
43号	46	福沢諭吉と交流のあった安藤正胤の一考察 神縄、山崎家に逗留した明治・大正期の医者	石井敬士
43号	55	山北町の交通・交流史Ⅰ江戸時代、川村岸は物流の拠点だった	茂木哲夫
43号	61	山北町の交通・交流史Ⅱ東海道鉄道、山北・御殿場ルートの開拓者原口要	真田悟
43号	69	山北町の交通・交流史Ⅲ鉄道連隊の運転実習線となった御殿場線	星野和子
43号	74	山北町の交通・交流史Ⅳ岸、中河原開拓の頃	箱山富美子
43号	85	昭和12年刊『民族学研究』より転載 相模足柄上郡の道祖神と小正月の行事 三保村・清水村・共和村	武田久吉・北村公佐
43号	96	瀬戸新平氏所蔵『秘要録』乾の冊を読む 江戸時代の六法全書「公事方御定書」上巻の初編本か	茂木哲夫
44号	口絵	蒸気機関車D5270	山崎泰

巻号	頁	題 名	著 者
44号	1	室生神社の流鏝馬にみる日本の馬文化	三橋國嶺
44号	11	山北中学校遺跡出土の武蔵型板碑について	鳥居和郎
44号	24	戦時中、三保にも報告寮があった	石井敬士
44号	33	『清水の学童疎開報告』I -各戸疎開した西潮田国民学校-	イリスの会
44号	45	蒸気機関車の話	瀬戸正二
44号	55	山北町の交通・交流史 I 生まれ変わった戦時機関車D52形	山崎泰
44号	59	山北町の交通・交流史 II 昭和9年、丹那トンネル開通前後の山北町	茂木哲夫
44号	64	山北町の交通・交流史 III 共和酪農創設の頃を語る	杉本好永・大野君麿
44号	74	山北町の交通・交流史 IV 河村氏・河村城を論じた新刊書紹介	茂木哲夫
44号	79	山北町の交通・交流史 V 岸の八幡神社「正八幡宮縁起」は語る	茂木哲夫
44号	87	昭和12年刊『民族学研究』より転載 相模足柄上郡の道祖神と小正月の行事 山北町(岸・山北・向原)	武田久吉・北村公佐
44号	95	瀬戸新平氏所蔵『秘要録 坤』を読む 「公事方御定書」下巻(御定書百箇条)の初編本か	茂木哲夫
45号	口絵	丹澤世伝御料地とその休泊所	内山豊
45号	1	丹澤世伝御料地とその休泊所について	内山豊
45号	29	『丹澤恩賜県有林巡視日記』について -『佐藤浅次郎日記』・『横浜貿易新報』から-	編集委員会
45号	37	『清水の学童疎開報告』II -清水での生活 各戸疎開した西潮田国民学校-	イリスの会
45号	55	『海軍火薬廠会計部』より抜粋転載 -本拠地平塚からの山北町疎開を中心に-	和田良助著
45号	73	平山不動尊常実坊と東京の劔榮講・和合講 -町田久成、桜井敬徳の足跡をたどる-	茂木哲夫
45号	91	山北町の交通・交流史 I 栄華を誇った鉄道の町と機関士だった父	高瀬孝夫
45号	92	山北町の交通・交流史 II 鉄道技師原口要の足跡をさぐる	星野和子
45号	100	山北町の交通・交流史 III 平山瀬戸の永安橋が交通の要衝だった頃	編集委員会
45号	104	山北町の交通・交流史 IV 帰って来たD52型蒸気機関車	岳陽新聞

巻号	頁	題 名	著 者
45号	106	日本山岳修験学会第38回山北・丹沢学術大会記念寄稿集 口絵 お峯入り	山崎泰
45号	108	山岳信仰と修験道	鈴木正崇
45号	125	山北のお峯入りについて	久保田裕道
45号	131	山伏の開踏と山の信仰（千葉政晴）	岳陽新聞
46号	口絵	山北町に残る近代産業遺産	編集委員会
46号	1	山北町の近代産業史Ⅰ江戸川工業所から三菱ガス化学への歩み ー過酸化水素製造を中心にしてー	編集委員会
46号	9	東大演習林シンポジウム「気持よく納められる森林環境税とは」 主催 東京大学大学院 農林生命科学研究科 附属演習林企画部	坂井マズミ・池谷和美・杉本一
46号	51	清水の学童疎開報告Ⅲー清水での生活Ⅱー ー各戸疎開した西潮田国民学校ー	イリスの会
46号	68	明治・大正・昭和と歩んだ山北の鉄道員 ー「瀬戸久満次略歴」からー	瀬戸正伊
46号	76	相模松田氏の興亡 ー小田原北条五代との関わりー	平賀康雄
46号	92	宝永噴火・火山灰の天地返し遺構の報告	津田守一
46号	102	沼舘愛三著「河村城址に対する所見」とその関連資料 河村城址見取図・史跡指定願書・交渉経過記録・踏査記念写真	編集委員会
46号	111	第二海軍火薬廠の山北町疎開関係資料 『海軍火薬廠追想録』附属資料・山北疎開地地下倉庫図	編集委員会
46号	117	山北町の近代産業史Ⅱ 北海電化工業から富士瓦斯紡績第六工場へ ー山北パークゴルフ場には何があったかー	茂木哲夫
47号	口絵	平山簡易水道給水記念・高松山山麓石仏・山北町の鉄道遺産	編集委員会
47号	1	平成30年度文化講演会要旨 山北町の鉄道遺産 御殿場線のトンネル群の沿革について	小野田滋
47号	19	山の観音様ー山北町尺里 高松山山麓の石仏ー	杉山徳光
47号	34	平山のご詠歌と観世音の石仏	小瀬雪子
47号	50	身近な里山にあった石碑	瀬戸恒彦
47号	57	平山簡易水道80年の歴史に幕を降ろす 平成16年	平山自治会
47号	63	西丹沢の記録 Ⅰ 山奥のスト、営林署大又澤軌道人夫ら 昭和26年	岳陽新聞
47号	66	西丹沢の記録 Ⅱ 信玄の丹沢金山をたずねて 昭和33年	足柄乃文化第2号から転載

巻号	頁	題 名	著 者
47号	72	西丹沢の記録 Ⅲ 三保にウランでるか 昭和33年・36年	岳陽新聞
47号	75	生活・信仰の記録 Ⅰ 「伊勢参宮はなむけ受領覚帳」鍛冶屋敷 正徳3年	編集委員会
47号	78	生活・信仰の記録 Ⅱ 小菅集治監製の煉瓦	編集委員会
47号	79	生活・信仰の記録 Ⅲ 琴浦紡績二見工場の紡績糸巻	編集委員会
47号	80	生活・信仰の記録 Ⅳ 「御詠歌」新柴村円通寺	編集委員会
47号	81	『大岡越前守忠相日記』に見る山北町域 －代官蓑笠之助の足跡と公事方御定書初編本「秘要録」－	茂木哲夫
48号	口絵	河村新城跡発掘調査	写真提供 (公財)かながわ考古学財団
48号	1	「露地山水之傳授」の発見によせて	三浦 彩子
48号	6	「露地山水之傳授」伝来のいきさつ	茂木哲夫
48号	10	「露地山水之傳授」読み下し文	茂木哲夫
48号	16	求道院と奥の院、そして妙法滝	瀬戸 恒彦
48号	21	山北町の近代産業史 Ⅲ	編集委員会
48号	22	「上敷免製」刻印煉瓦と渋沢栄一	編集委員会
48号	24	「大正9年版工場通覧」に見る山北工場	編集委員会
48号	26	「御詠歌」の一番円通寺(小山町)について	編集委員会
48号	30	丹沢山地での治山治水事業 広報「関東の森林から」	編集委員会
48号	32	「岳陽新聞」に見る戦後山北町の衛生史 －伝染病・保健所・医院・町営水道を中心にして－	編集委員会
48号	50	関東大震災と川村役場・消防団・青年団・軍人分会の活動	「川村震災記念誌」より転載
48号	62	文部省に提出された二つの河村城址史蹟指定願 －南北朝時代の河村城址所在地をめぐって－	編集委員会
48号	80	小曲輪・新城の命名は北条氏政か －1570年から1590年までの20年間の河村城－	茂木哲夫

巻号	頁	題 名	著 者
49号	口絵	今泉小源治とその鉄道遺産	写真提供 今泉 美智子
49号	1	鉄道請負業の先駆者初代今泉小源治の業績 －杉井組から東海工業への歩み－	茂木哲夫
49号	17	洒水の滝と文覚上人	森省三
49号	23	妙法山と妙法の滝	「妙法山記」より抜粋転載
49号	29	文部省に提出された山北町河村城址史蹟指定願(二) －南北朝時代の河村城址所在地をめぐって－	山北町地方史研究会編集委員会
49号	44	昭和30年代の山北町工場誘致の歩み －丸正林製糸工場から丹南工業・山北編織へ－	「岳陽新聞」より転載
49号	52	横須賀(武山)第二海兵団練習兵との日々 －瀬戸喜代志『昭和18年・19年教育記録』より－	矢島そのみ
49号	79	幕末期旗本川村氏の知行地支配 －般若院文書『嘉永4年 知行所諸用留』より－	小暮正利